



平成28年4月1日

各位

会社名 株式会社 地域新聞社
代表者名 代表取締役社長 近間 之文
(コード 2164)
問合せ先 常務取締役管理本部本部長兼
経営管理部部長 宮本 浩二
(TEL. 047-420-0303)

特別損失の計上（のれんを含む減損損失）、業績予想値と実績値との差異、通期業績予想の修正及び役員報酬の減額に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成28年8月期第2四半期決算において、下記の通り特別損失（のれんを含む減損損失）を計上するとともに、平成27年10月13日に公表いたしました、平成28年8月期第2四半期累計期間（平成27年9月1日～平成28年2月29日）の業績予想と本日開示の実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。また、通期業績予想につきましても修正いたしましたので、役員報酬の減額と併せ、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 特別損失（のれんを含む減損損失）の計上について

当社は、当社の連結子会社である株式会社ショッパー社の株式取得時に発生したのれん及び固定資産について、同社に係る事業の業績が、当初策定の計画を下回っていることを勘案して、今後の事業計画を見直し、回収可能性額を慎重に検討した結果、減損損失として42百万円を計上することとなりました。本件の業績への影響等につきましては、本日開示の「平成28年8月期第2四半期決算短信[日本基準]（連結）」に反映しております。

2. 業績予想値と実績値との差異

- (1) 平成28年8月期第2四半期連結業績予想値と実績値との差異
(平成27年9月1日～平成28年2月29日)

(単位：百万円，%)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A)	1,935	△67	△67	△67	円 銭 △36.75
今回実績値(B)	1,892	△76	△75	△136	△73.86
増減額(B-A)	△43	△9	△7	△68	
増減率(%)	△2.2	—	—	—	
(ご参考) 前第2四半期実績 (平成27年8月期第2四半期)	1,546	89	91	57	31.19

(2) 修正の理由

当第2四半期累計期間において、当社の連結子会社である株式会社ショッパー社の株式取得時に発生したのれん及び固定資産について、減損損失として42百万円を計上することとなったため、親会社株主に帰属する四半期純利益が業績予想値を大幅に下回る結果となりました。

3. 通期業績予想の修正

(1) 平成28年8月期通期連結業績予想の修正

(平成27年9月1日～平成28年8月31日)

(単位：百万円，%)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	4,021	11	10	1	円 銭 0.89
今回修正予想(B)	3,929	△144	△142	△212	△115.39
増減額(B-A)	△91	△156	△153	△214	
増減率(%)	△2.3	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成27年8月期)	3,457	74	79	25	13.59

(2) 修正の理由

当社グループの主力事業である「新聞等発行事業」が属するフリーペーパー・フリーマガジン市場は、媒体及びターゲットの多様化が進んでいるだけでなく、インターネット広告との価格競争が恒常化するなど、年々経営環境は厳しさを増しております。

このような環境のもと、地域新聞社においては、営業活動の増加施策として、広告主とのface to face 営業を強化し、接触件数増加により信頼関係を構築し、客数の増加に努めてまいりました。また、地域情報収集を更に強化し、読者に毎週楽しみにしていただける紙面内容にさらに進化発展させてまいりました。加えて「ちいき新聞」紙面と「チイコミ」(地域情報コミュニティサイト、Web事業が運営)との連携をさらに強化させ、より付加価値の高い広告提供を実現し、顧客満足度を高めてまいりました。また、ショッパー社においては、4月からのエリア細分化に備え、営業人員を増強し、地元中小企業や個人商店といったより地域に密着した営業活動に転換を図ってまいりました。

上記の施策を行ってまいりましたが、「折込チラシ配布事業」において、前期に統一地方選挙による特需がありましたが、当期は客数が伸び悩み、売上高は計画値を下回ることになりました。

折込チラシ配布事業の業績が計画値を大きく下回ったことに加え、ショッパー社において今後のエリア細分化に備えるための人員確保による経費及び人件費が増加、また基幹システム等への投資が嵩んだ結果、営業利益、経常利益は見込みを大きく下回り、加えてのれんを含む固定資産の減損損失を特別損失として計上したため、親会社株主に帰属する四半期純利益も見込みを大きく下回る結果となりました。

4. 役員報酬の減額について

平成 28 年 8 月期における業績の下方修正をさせていただくことを真摯に受け止め、本日開催の取締役会において役員報酬の減額を決議いたしました。今後は、当社グループ一丸となって収益基盤の確立に取り組み、早期の業績回復に邁進し、市場からの信頼回復に努めてまいります。今後とも株主の皆様をはじめ、関係各位のご支援を賜りますよう、何卒、よろしくお願い申し上げます。

(1) 減額の内容

役員報酬月額の 20% を減額

(2) 減額対象

代表取締役（対象 1 名）、常務取締役（対象 2 名）及び取締役（対象 1 名）

(3) 期間

代表取締役及びショッパー社管掌常務取締役：平成 28 年 4 月分より 6 ヶ月間

常務取締役及び取締役：平成 28 年 4 月分より 3 ヶ月間

以上